

平成 29 年度みちのく国づくり支援事業（公益事業）
募 集 要 項

1. 支援事業の目的

東北地域づくり協会は、国土の健全な発展に寄与すべく、東北地方において公益事業を幅広く展開しております。これら社会資本整備に関する公益事業を通じて、地域活性化並びに東北地方の自立的発展に資することを目的として、平成 29 年度事業を募集するものです。

2. 応募対象要件

(1) 申請者の要件

東北地方に所在地を置き、社会資本整備に関する事業を実施している公的機関、関係団体、関係法人等を対象とします。ただし、個人での申請はできません。

(2) 支援対象事業の要件

- ① 公益目的支出計画に基づき、社会資本の整備、利用、保全等に関する事業で、公益性が高く、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する事業を原則とします。
- ② 平成 29 年度は、震災復興加速による地域活性化（まちづくり・人材育成・地域防災対策等）事業を重点とします。
- ③ 上記のほか、次に掲げる基本要件、事業分類、事業区分（キーワード）のうち、それぞれいずれかに該当する事業を対象とします。

【基本要件】

- 一 災害の防止を目的とする事業
- 二 地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業
- 三 国土の利用、整備又は保全を目的とする事業

【事業分類】

一 防災に関する支援事業

- ・・・ 東日本大震災の復旧・復興に向けた支援活動及び災害時の防災活動支援や平常時の公共施設管理支援のほか、東日本大震災及び過去の災害に関する記録・諸情報のデータベース化、防災意識の普及・啓発等防災に関する教育・講演会・研究会・広報活動等を通じて、災害時の迅速かつ的確な対応に寄与することを目的とする事業。

例) 防災に関する講演会／防災に関する各種活動／防災教育 等

二 調査研究及び研究助成事業

- ・・・ 東北地方の企業・団体・大学等を対象とした技術開発支援及び共同研究、大学連携等のほか、東日本大震災の復旧・復興に向けた技術開発支援等、東北地方を中心とした研究活動を活性化させ、東日本大震災の復旧・復興に貢献するとともに東北地方のさらなる技術の向上を図ることを目的とする事業。

※ 当該事業分類に係る支援については、「技術開発支援」として別途募集あり。

三 研究会・講習会等に関する事業

- ・・・ 社会資本整備の推進、環境保全、地域社会の健全な発展等に寄与する講習会、研究会及び表彰活動等を通じて、これら事業の積極的な展開を推進するとともに人材育成を図ることを目的とする事業。

例) 社会資本整備及び地域づくりに関する研究会・講習会／コンクール活動／人材育成 等

四 広報活動及びその支援に関する事業

- ・・・ 社会資本整備に関する利用・保全並びに地域活性化を念頭においた事業等を通じて、地域住民の社会資本整備への理解を深めるとともに、円滑な推進に寄与することを目的とする事業。

例) 社会資本整備及び地域活性化に関する講演会／展示会／地域防災広報 等

【事業区分】

講座、セミナー、人材育成（講習会・研修会ワークショップ等）／体験活動等／調査・資料収集／展示会・コンテスト／その他（別紙参照）

(3) 支援対象事業に係る留意事項

注1) 公的機関（行政等）が主催すべきと判断される事業については、原則対象外とします。

注2) 公的機関及び関係法人、報道関係機関等が申請する場合は、実行委員会形式を原則とします。

注3) 社会資本整備との関連性がない事業や明らかに特定の者を対象とする事業については対象外とします。

注4) 要件に合致する事業であっても、収益を伴う事業として申請する場合は、事前に事務局へ確認したうえで申請願います。

3. 支援内容

(1) 支援体制について

支援体制については、表-1のとおりです。

表-1 支援体制

支援体制	説明
共催	当協会と共同で実施する事業。
実行委員会	複数の団体等により構成される実行委員会として実施する事業。
後援・協賛	主催者の趣旨に賛同し、従的な立場として支援する事業。

(2) 支援額について

支援額については、必ずしも申請時の要望額となるものではありません。選定委員会における審査により最終的な支援額が決定されます。限度額については、表-2のとおりです。

表-2 支援限度額

支援体制	支援金の限度額
共催・実行委員会	事業内容を考慮し、共催団体（もしくは実行委員会）等と調整のうえ支援額（当協会負担額）を決定します。
後援・協賛	総事業費（事業に係る直接経費のみ）の1/2以下を原則とし、50万円を上限とします。

(3) 支援金を充当できない費目について

- ① 資産となりうる器具備品費（パソコン、デジタルカメラ等）
- ② 記念品及び景品等購入費
- ③ 賞金及び謝金等（ただし、講演会等における講師謝金の場合は、事務局と協議のうえ可否を決定します。）
- ④ 主催者側の運営費及び人件費（外注費を除く）
- ⑤ 他機関等から使用目的を限定して補助金等が支給されている経費
- ⑥ 支援対象事業以外への充当

上記に記載がなく、支援金充当の可否が不明な場合は、事務局へご確認下さい。

4. 応募方法

(1) 提出書類

応募にあたっては、以下の書類を提出して下さい。なお、書類上における代表者については、事業実施団体もしくは構成団体等の代表者とし、原則公印による押印として下さい。（ただし、実行委員会等で公印を作成していない場合は、代表者の私印でも構いません。）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1) みちのく国づくり支援事業申込書（様式1）2) 事業実施計画書（様式2）3) 収支予算書（別紙）4) 参考資料（その他必要な添付資料等） <p>※ 1)～3) はデータをメール等にて提出願います（PDF不可）</p> |
|---|

(2) 募集期間

平成28年12月7日（水）～平成29年2月15日（水） ※必着

(3) 提出先

事務局への郵送、もしくは、東北6県の最寄りの各支所へ提出して下さい。

(4) その他

応募に要する費用は、全て申請者の負担となります。また、提出いただいた申請書類は、採択の可否にかかわらず返却いたしませんのでご了承下さい。

なお、提出書類の様式は毎年度更新しておりますので、最新の様式をご使用下さい。

旧版で提出された場合は、最新版で再度提出していただくこととなりますのでご注意下さい。

5. 選定及び結果の通知

(1) 支援対象事業の選定

対象事業の選定（事業内容・支援額等）については、学識経験者及び有識者等の第三者委員で構成する選定委員会において、公益性、有効性、社会貢献度等の観点から厳正に評価・審査を行い対象事業を決定します。

(2) ヒアリングの実施

選定にあたっては、必要に応じて申請者に対するヒアリングを行います。ヒアリングを要する際は、担当者宛に連絡を入れますので、事務局の指示に従って回答していただきます。

(3) 結果の通知について

選定結果については、採択決定通知書により申請者宛に通知するほか、採択された事業を当協会ホームページで公表する予定です。なお、結果の通知については、平成29年4月上旬を予定しています。

6. 事業実施の流れ

支援対象事業として採択された場合は、前述の採択決定通知と併せてその後の手続き等に関する書類を郵送しますので、必要な書類を遅延なく提出して下さい。

また、事業のより効果的な実施のため、支援にあたっての条件を付する場合がありますので、その際は可能な限り対応して下さい。実施にあたっての流れは以下のとおりです。

- 1) 申請時点で未確定事項（開催日、会場、協力団体等）があった場合は、決定次第速やかに事務局へ報告する。
- 2) 支援額の決定を受け、事業内容及び支援金充当費目等に変更があった場合は、事業変更届（様式4）により速やかに事務局へ報告する。
- 3) 事業実施にあたっての広報並びに結果を公表する際は、実施体制の明示、もしくは当協会から支援を受けている旨を必ず明示する。

〔記載例①：後援 一般社団法人東北地域づくり協会〕

〔記載例②：本事業は、(一社)東北地域づくり協会 みちのく国づくり支援事業の支援により実施しています。〕

- 4) 事業実施後は、完了報告書（様式6）及びその他成果に係る資料、請求書（様式9）、決算報告等を速やかに事務局へ提出する。
- 5) 報告書類一式を受理した後で支援金を支払う。ただし、やむを得ない事情により事前の支払いを要する場合は、事務局と協議するものとする。
- 6) このほか、事業内容の変更もしくは中止の場合は、事業変更届（様式4）・事

業中止届（様式5）を速やかに事務局へ提出する。

7. 実施報告（成果）について

完了報告時には、以下の書類等を提出していただきます。なお、提出いただいた成果は原則実施者に帰属しますが、書類内容及び写真等については、当協会における広報活動（HP、広報紙等）において使用させていただきます。

- 1) 完了報告書（様式6）
- 2) 事業実施報告書（様式7） ※データ要提出
- 3) 結果報告書（様式8）
- 4) 事業費全体に係る収支決算書（任意様式）及び領収書の写し
- 5) 支援金に係る請求書（様式9）
- 6) 電子データ（実施状況写真等） ※データ要提出
- 7) 成果物（報告書・パンフレット・新聞掲載記事・冊子等）
- 8) アンケート

※ 各書類の様式については、随時当協会ホームページに掲載していきます。

8. 個人情報の取扱い

申込書等提出書類に記載された個人情報については、当協会「個人情報管理基準」により適正に保護されます。

なお、当該個人情報は、申請者情報及び連絡先情報として選定委員会まで利用するほか、支援対象事業として選定された際は、事業が完了するまで事務手続き等における連絡先情報として利用するものです。それ以外の目的に利用することはありません。

9. 事務局（資料提出及び問い合わせ先）

一般社団法人東北地域づくり協会 地域事業部

〒980-0871 仙台市青葉区八幡一丁目 4-16

TEL : 022-268-4711 / FAX : 022-227-5244

E-mail : michinoku@kyokai.or.jp

※ 各支所の所在地については、当協会ホームページをご覧ください。

事業区分ごとの事業名の例

別 紙

	事業区分	事業名の例（事業報告書等に記載されているもの）
1	検査検定	検査・検定、検査、検定、認証
2	資格付与	技能検定、技術検定、資格認定
3	講座、セミナー、育成	講座、講習、セミナー、シンポジウム、人材育成、育成、研修会、学術集会、学術講演会
4	体験活動等	イベント、体験、体験教室、ツアー、観察会
5	相談、助言	相談、相談対応、相談会、指導、コンサルタント、助言、苦情処理
6	調査、資料収集	調査研究、調査、統計、資料収集、情報収集、データベース作成、分析
7	技術開発、研究開発	研究開発、技術開発、システム開発、ソフト開発、研究、試験研究
8	キャンペーン、〇〇月間	キャンペーン、普及啓発、週間、月間、キャラバン、政策提言
9	展示会、〇〇ショー	展示会、博覧会、ショー、〇〇展、フェア、フェスタ、フェスティバル
10	博物館等の展示	〇〇館、コレクション、常設展示場、常設展示
11	施設の貸与	施設（又は会館、ホール、会議室）管理、施設の管理運営、施設の維持経営
12	資金貸付、債務保証等	融資、ローン、債務保証、信用保証、リース
13	助成（応募型）	助成、無償奨学金、支援、補助、援助、補助金、利子補給、家賃補助、無償貸与、無償貸付、無償レンタル
14	表彰、コンクール	表彰、〇〇賞、〇〇大賞、コンクール、コンクール大会、審査、コンテスト、グランプリ、展覧会
15	競技会	競技大会、試合、大会、〇〇カップ、〇〇杯、〇〇オープン
16	自主公演	公演、興行、演奏会
17	主催公演	主催公演、主催コンサート